

# 議会だより

3月定例議会

# しらたか



ピッカピッカの一年生 蚕桑小学校入学式

平成20年度  
一般会計予算 **74億2,000万円を可決**・・・④ p

鮎貝土地区画整理地内に福祉用地を取得・・・③ p

- ・ 3月定例議会概要・・・・・・・・・・・・・・② p
- ・ 20年度予算審査・質疑・・・・・・・・・・・・⑥ p
- ・ 町への質問・提言（2議員が一般質問）・・・・⑫ p
- ・ 白鷹町安全安心まちづくり条例を制定・・・・⑭ p
- ・ 追跡レポート（あの一般質問のゆくえ）・・・・⑯ p

Vol98

2008.4.22

# 信頼ある行財政の政策が求められる

## 協働のまちづくりによる 事業の展開を

議員発議により合併検討特別委員会を設置



やまがたの棚田 20選（中山地区）

### 報告 議会の動き

#### 統合保育園の用地を取得

**町は責任を持って対応**  
2月1日の鮎貝まちづくり事業調査特別委員会で、老朽化がすすむあゆか保育園とこぐわ保育園を統合した保育園や、全町を対象とした子育て支援センターの用地として、鮎貝土地画整理組合の保留地を取得したいので、三月定例議会の早い時期に議会の承認を得たいとの報告を受けました。

のまちづくりの理念を逸脱した拙速な提案ではないのか。」といった意見がありました。  
当局からは、福祉用地の取得は緊急の課題である。少子化の背景や施設の老朽化などから基本的な理解は得られている。設置場所には行政が責任を持つ必要があり、今後も地域の方に十分な説明をしていきますとの答弁がありました。  
町民との合意形成や、協働のまちづくりの理念に基づいた対応と事業の展開を行うことを並局に望み、『福祉用地の取得』を賛成多数で可決しました。



統合保育園の予定地

3月定例議会日程	
月日	会議
2月26日	議会運営委員会
3月4日	本会議 予算特別委員会
3月5日	議会運営委員会 本会議
3月7日	総務厚生常任委員会 総務厚生分科会
3月10日	産建文教常任委員会 産建文教分科会
3月12日	予算特別委員会
3月14日	議会運営委員会 本会議

定例議会は、3月4日から14日までの11日間の会期で開かれました。  
平成19年12月25日に本場米琉（白鷹板締小組）が、山形県無形文化財に指定されたとの行政報告がありました。  
本会議に提出された主な議案は、  
平成20年度予算  
一般会計74億2000万円  
（一般会計、特別会計および企業会計総額134億8931万円）  
国民健康保険税の改正など条例11件  
19年度各会計補正予算などが、  
審議の結果原案のとおり可決しました。  
一般質問は、2名の議員が当面する町の問題点や課題をただしました。  
議員発議による、市町村合併に関する調査研究を行うことを目的とする「市町村合併検討特別委員会」の設置について「賛成多数で採択しました。」

平成20年度  
一般会計予算 74億2,000万円  
(対前年比5.4%)

# 賛成多数で可決

平成20年度予算は、2分科会で審議のあと3月12日に予算特別委員会（議長を除く13名）で全11会計について徹底審査しました。

平成20年度各会計当初予算		予 算 額
一 般 会 計		74億2,000万円
十王財産区		39万円
下水道		7億8,941万円
国民健康保険		14億9,271万円
老人保健		2億9,701万円
農業集落排水		8,296万円
介護保険		14億685万円
後期高齢者医療		1億6,029万円
特別会計	水 道	収益的支出 3億4,688万円 資本的支出 1億5,538万円
	病 院	収益的支出 11億9,200万円 資本的支出 1億513万円
		訪問看護
	総 額	

万円未満は端数を整理しています。

## 効率性と重点化をはかった予算編成

総 額 134億8,931万円(対前年比 5.4%)



工事がすすむ文化交流センター

## 討論

賛成

反対

### 反対討論 佐竹典明議員

与党税制調査会は、消費税増税の口実に、基礎年金2分の1国庫負担分や、福祉目的税化を公言していますが筋違いです。

町の各種使用料に、納税義務のない消費税加算は間違いです。

農業問題の解決には、家族農業が成り立つよう国に求めていくべきです。

タナ力種畜牧場の環境問題は、責任を明らかにし、速やかな解決をはかるべきです。

県教育委員会は、高校再編方針徹底の委員会を起ち上げています。必要なのは荒高存続のため、県教委方針の見直しを県に求めていくことです。

地区公民館運営は、地域住民の力が発揮できるよう新たな職員体制の充実をはかり、真のまちづくりの拠点として位置づけることが必要です。

「白鷹板小併」県無形文化財指定、新荒砥橋早期着工、最上川世界遺産登録などを生かしたまちづくりが今求められています。

反対議員(2人)  
本木勝利議員  
佐竹典明議員

### 賛成討論 佐藤誠七議員

第4次総合計画の総仕上げに向け、効率性と重点化をはかり予算編成を行い、三位一体改革、少子高齢社会を迎え、益々厳しさを増す地方財政のなか、町の借金である起債残高を、対前年比5億円減少していることは、評価をします。

また、厳しい農業情勢のなか、農家の声を反映させたいとして「地域農業活性化センター」を設置することは、大いに期待をします。

しかし、課題としてとらえていただきたい点を、申し上げます。

過疎地域の指定から除かれたときの町の財政状況の見通しを示すべき。

箱物建設は、建設後に多額の維持経費が発生するので、慎重に取り組むべき。

鮎貝士地区画整理事業の組合保留地の売却がないと、工事などの費用が捻出できない。町長を先頭に販売することを切望します。

賛成議員(11人)  
五十嵐政司議員  
菅 祐二議員  
岡田 明議員  
青木彰榮議員  
加藤秀人議員  
今野正明議員  
遠藤幸一議員  
佐藤誠七議員  
守谷丹吾議員  
関千鶴子議員  
菅原隆男議員

### 第4次総合計画の評価と総括

岡田 明議員  
第4次総合計画をどう評価し、次期総合計画策定に取り組みますか。

町長 産業の振興をはじめ教育、福祉、文化の振興、基本的な社会基盤の整備など、一定の向上がはかられてきたものと確信しています。今後の政策の推進については、今日まで築いてきたまちづくりを基盤にしっかりと足固めを行い、町の将来像「人・自然ともにきらめき心豊かな美しい郷」を展望した施策の構築をはかります。

### 過疎の指定は22年3月まで

佐藤誠七議員  
平成22年3月末で過疎指定が期限切れとなるが、切れた場合の財政の見通しを示すべきと思うがいかがですか。

### 次期総合計画策定には、町民の声を反映させよ

佐竹典明議員  
次期総合計画策定には、町民の最大限の参加と、併せて町職員の見通しをいかに反映させる計画づくりにしてはいかがでしょうか。

### 公民館運営に町職員の力も生かせ

佐竹典明議員  
地区公民館の運営には、町職員を配置し、まちづくりの拠点とすべきと考えるがいかがですか。

## 施政方針

平成20年度



橋本光記 町長

(要旨抜粋)

自立しながら持続的に成長できる町を目指して

自立しながら持続的に成長できる町を目指して

少子高齢社会の進展と加速する人口減少、さらには三位一体改革などの影響による格差社会の拡大など、取り巻く社会情勢が大きく変化しているなかで、自立する地域コミュニティの創造を目指し、持続可能な将来展望のあるまちづくりの仕組を作り上げていく必要があることを認識しています。特に今後のまちづくりにあたっては、町民の自助、公助、互助を中心とする相互扶助としての地域コミュニティを

## 総括質疑

### まちづくりには町民の理解が必要

守谷丹吾 議員  
今後のまちづくりには、町民の自助、公助、互助を中心とする相互扶助の地域コミュニティを再評価し、協働のまちづくりを推進するとしていますが、町民にどのように理解してもらいますか。

### 町民の理解が必要

町長 町民の方には、あらゆる機会をとらえ説明し理解をしてもらうように考えています。

# 地方交付税の伸びは一時的なもの

## 歳入

(町の収入)

### 質疑

**1億円増の地方交付税**  
**議員** 平成20年度の地方交付税が、前年度との比較で1億円増えていますが、理由を伺います。  
**当局** 国で「地方再生対策費」が創設されて、4000億円が予算措置されたので本町分として算定したものです。

**今後はどうなる**  
**議員** 三位一体改革や行財政改革により地方交付税が実質的に削減されているなか、今年度は増額となったが、来年度以降はどうなりますか。  
**当局** 平成20年度の地方交付税は19年度よりは増額になっていますが、18年度より減額になっています。「地方再生対策費」は恒久措置ではないので、国の動向によって変わると思います。

**町民との信頼関係**  
**議員** 住民の負担増やサービス低下がともなう経費の削減は、行財政改革の成果ではないという認識をしなければ、町民との信頼関係が保てないと思いませんか。  
**当局** 何が成果で何が住民に対する負担増になるのか総合的に判断していきます。

**行財政改革の効果**  
**議員** 地方は、さらなる行財政改革を推進すべきという流れのなかで、白鷹町の集中改革プランの効果伺います。  
**当局** 平成12年度を基準に、13年度から18年度までの6年間で経費の削減額は、収入の廃止・時間外手当などの人件費や物件費などで合計11億2300万円にわたっています。



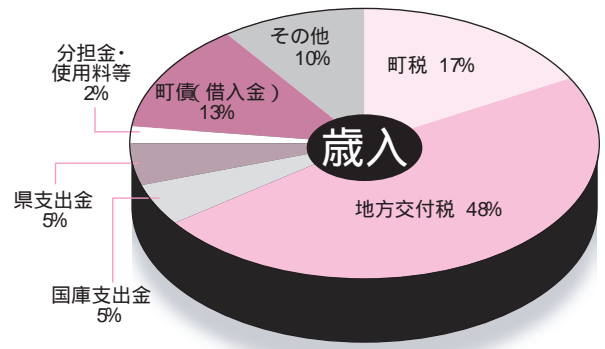
暫定税率の影響は

**議員** 三位一体改革や行財政改革により地方交付税が実質的に削減されているなか、今年度は増額となったが、来年度以降はどうなりますか。  
**当局** 平成20年度の地方交付税は19年度よりは増額になっていますが、18年度より減額になっています。「地方再生対策費」は恒久措置ではないので、国の動向によって変わると思います。

平成20年度一般会計収入予算額一覧

歳入(町の収入)	予算額
町 税	12億 6,742万円
地方交付税	35億 7,900万円
国庫支出金	3億 5,291万円
県支出金	3億 6,298万円
分担金・使用料等	1億 4,657万円
町債(借入金)	9億 5,500万円
その他	7億 5,612万円
合 計	74億 2,000万円

万円未満は端数を整理しています。



引き継ぎ保育 よつば保育園

### 総務費

#### 委託先の選定には

**ルールが必要**  
**議員** 町は、委託先を選定する時に安ければよいとするだけでなく、相手方が法令遵守・従業員の福利厚生に意を払っているかなどのチェックが必要だと思います。選定の時に、委託先の評価やランク付けが必要だと思いますがどうですか。  
**当局** 委託先の選定には一定のルールが必要です。お互いの信頼関係のなかで、持続可能な契約のあり方を考えていきます。

**支障のないように**  
**議員** 地上デジタル放送化にともない、電波の難視聴地で戸数の少ない集落では、自己負担が大きくなるのを解消しなければ、地域格差が情報格差を拡大させると考えますがどうですか。  
**当局** テレビ放送は、最大の娯楽であり情報源でもあります。条件の不利なところでの対応は、現存の中継所の設置の方法を参考にしながら生活面で支障のないように考えていきます。

### 民生費

#### よつば保育園の引き継ぎ保育

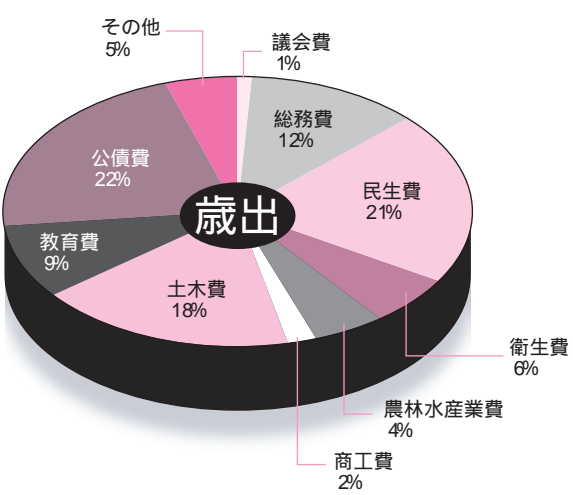
**障がい者の社会参加**  
**議員** 障がい者の社会参加がさげばれていますが、町内の実情を伺います。  
**当局** 障がい者の社会参加はまだまだ厳しい状況にあります。  
 町では、障がい者の方の運転免許の取得や車の改造への支援と、商工会との連携により企業に対して理解と協力を求め、職場の確保に努めます。

**よつば保育園の引き継ぎ保育**  
**議員** よつば保育園の引き継ぎ保育が、どのように行われるのか伺います。  
**当局** 20年度は公設公営なので社会福祉法人白鷹会(あらと保育園)から4名の保育士が転入し、町の保育士と共に保育にあたります。  
**保護者からの要望**  
**議員** よつば保育園の保護者の理解を得るために、引

平成20年度一般会計支出予算額一覧

歳出(町の支出)	予算額
議会費	8,942万円
総務費	8億 7,630万円
民生費	15億 6,725万円
衛生費	4億 4,196万円
農林水産業費	3億 993万円
商工費	1億 5,783万円
土木費	13億 4,573万円
教育費	6億 9,272万円
公債費	15億 9,004万円
その他	3億 4,882万円
合 計	74億 2,000万円

万円未満は端数を整理しています。



## 歳出

(町の支出)

### 質疑

#### 障がい者の社会参加

**議員** 障がい者の社会参加がさげばれていますが、町内の実情を伺います。  
**当局** 障がい者の社会参加はまだまだ厳しい状況にあります。  
 町では、障がい者の方の運転免許の取得や車の改造への支援と、商工会との連携により企業に対して理解と協力を求め、職場の確保に努めます。

#### よつば保育園の引き継ぎ保育

**議員** よつば保育園の引き継ぎ保育が、どのように行われるのか伺います。  
**当局** 20年度は公設公営なので社会福祉法人白鷹会(あらと保育園)から4名の保育士が転入し、町の保育士と共に保育にあたります。  
**保護者からの要望**  
**議員** よつば保育園の保護者の理解を得るために、引



リフレッシュを兼ねた人間ドック

衛生費

種畜牧場の今後の対応策は

関係者からの聴き取り

【議員】 タナカ種畜牧場の浄化施設の設計を担当した業者から、当初の考え方などを聴き取りする機会を設けてはどうですか。

【当局】 タナカ種畜牧場の問題は、町民と行政と関係者の信頼関係をいかに構築し、改善をしていくかになります。

監視委員会の中にも、「招へいをしては」という意見もありましたので、相談しながら結論をだしていきたいです。

人間ドックの啓発

【議員】 20年度から、再び泊二日のドックも行われるようです。もう少し町民にドックを受けるよう啓発すべきと思いますがどうですか。

【当局】 泊二日コースのドックを要望する声があり再開しました。他のコースと比べ経費はかかりますが、パレス松風と契約をしており、リフレッシュも兼ねて受けられるよう努めていきます。

質疑

労働費・農林水産業費

正規・非正規職員の対比は

雇用形態の実情

【議員】 雇用形態としては、正規の職員と非正規の職員がありますが、福祉関係ではどのようになっているか伺います。

【当局】 正社員として保障がされる雇用形態が望ましいのですが、今の福祉関係では、パートなどの方が多くなっているのが実態と想っています。

活性化センターの取り組み

【議員】 地域農業活性化センター推進事業として、新たな取り組みを行う計画ですが、どのように進めていくのか伺います。

【当局】 この事業は、荒廃農地の活用や情報の受発信などを行い、町内の農業のセンター機能を担うものです。具体的には農用地の利用

改善や研修などを行いながら進めていきます。

【議員】 この事業を進めるための人材の配置や方向性の考え方を伺います。

【当局】 産業振興課が担当し、課内で横の連携を密に推進します。一定の方向性が定まった段階で、専門家や現場の声を集めるコーディネーターの配置を考えています。



荒廃農地の有効利用（ひらび園に）

歳出

（町の支出）

農林水産業費

環境保全型農業の推進

付加価値を高める

【議員】 環境保全型農業の推進事業では、どのような取り組みを行うのか伺います。

【当局】 農地・水・環境保全型対策事業として、鮎貝地区を中心に、県が認定するエコファーマーの育成を行い、付加価値を高める農業

町道（農道）の整備

【議員】 町道なのに農道として利用している道路の整備は、材料は町で負担し、作業を組合や地元で行うなどの白鷹方式を検討してはどうですか。

【当局】 現場の声として、町の推進に努めていきます。道整備（農道）の要望があることは承知をしています。どのような整備が可能なのか関係課と検討をしていきます。



農道整備の方法は

商工費

伝統工芸者の人材育成

人材育成の取り組み

【議員】 伝統工芸文化人材育成事業は、県の無形文化財の指定を受けたからだと思います。

【当局】 現在、後継者が不足しているなかで、町として取り組む具体的な考え方を伺います。

【議員】 県の無形文化財第二号の指定になった「白鷹板締小紺」の技法は独自のも

ルールの策定

【議員】 移住促進事業は良い発想だと思えます。しかし、年齢の問題などいろいろな条件が考えられ、ルールの策定が必要だと思いますがどうですか。

【当局】 この事業は、インターンやUターンを展開しているなかで、町の姿勢として補助金を考えているものです。指摘のとおりルール化も必要ですが、行政のしやくし定規だけでは合わないこともあるので、現場の意見を聞きながら展開していきます。



板締小紺の機織り風景

# 歳出

(町の支出)

## 土木費

### 文化交流センターの具体的な備品

#### 備品の内容は

**議員** 最上川の世界文化遺産登録に向け取り組んでいるなかで、本町にあるフットパスが注目されると思うが、維持管理の対応策を伺います。

**当局** 沿線の集落と一体となった、ヨシ刈りや、設置されている案内標柱を活用して、利用者に対応します。

#### 機能していない消雪道路の対応は

**議員** 文化交流センターの備品とは、具体的にどのようなものですか。

**当局** 総額6000万円程になり、内容は、テーブル、椅子や多目的ホルルの音響・照明、ギャラリ用運搬車など多数の品目になります。

**議員** 消雪パイプが布設されていても機能していない箇所がありました。理由と今後の対策をお聞きします。

**当局** 機能していない箇所は、2カ所です。ポンプ、水量などの試験検査を行った結果、水が不足しているため、機械除雪を行っています。



花の植栽(フットパス)



調理作業の風景(共同調理場)

## 教育費

### 荒砥高校への支援

#### 給食センターの民営化は

**議員** 給食センターの民営化をする計画があるが、どのようになっていますか。

**当局** 給食センターの民営化への取り組みは、20年度から具体的に検討をします。

#### スポーツ振興基金を取り崩したが

**議員** スポーツ振興基金を取り崩して予算の編成を行っている

**議員** 荒砥高校の活性化と存続へ向け支援をするとして

#### 入学して良かったと思える支援

つつが、スポーツ振興の方向性をお聞きします。

ているが、具体的にどのような支援をしていますか。

**当局** 現在、町の高校構想検討委員会を設置し取り組んでいます。基本的には入学して良かったと思える支援であり、具体的に、個別指導、ボランティア活動、部活動への支援を検討しています。

# 質疑

## 鮎貝まちづくり拠点整備事業6300万円の減額

# 補正予算

### 平成19年度 一般会計総額 72億1,959万円となる

# 質疑

## 補正の主なもの

- 一般会計補正予算の主なものは
    - ・ 財政調整基金積立に 3000万円の追加
    - ・ 病院経営事業に 4000万円の追加
    - ・ 温泉の源泉管理対策に 586万円の追加
    - ・ 除雪事業に 440万円の追加
    - ・ 鮎貝まちづくり拠点整備事業 6300万円の減額
    - ・ ため池等整備事業 587万円の減額
- 財源は、国、県支出金、町債、繰越金などで調整します。

### 減額の内容は

**議員** 鮎貝まちづくり拠点整備事業費6300万円の減額について伺います。  
**当局** 文化交流センター建物のランドマークに調整を要するため、19年度の工事出来高が予定を下回るため、6300万円を減額するものです。

### 負担金の見直し

**議員** ため池等整備事業について19年度より県の負担金補助が見直され、新たに2%が地元負担となったが町の考え方を伺います。  
**当局** 町の負担も10%から14%に上がりましたが、新規ため池整備事業を可能にすることが行政の役割と考えます。2%の地元負担に地元が耐えられるか、また町が肩代わりできるかを十分検討し対処していきます。

平成19年度補正予算総括表

会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	1,365万円	72億1,959万円
下水道	4億4,488万円	11億6,160万円
国民健康保険	87万円	15億1,717万円
老人保健	1,800万円	18億1,847万円
農業集落排水	791万円	8,538万円
介護保健	2,428万円	13億6,343万円
水道	収益的支出 1億3,906万円	2億8,983万円
病院	収益的支出 1,600万円	11億8,600万円
訪問看護	収益的支出 580万円	3,880万円



完成した原虚空蔵ため池(中山地区)

佐竹典明 議員



食育、食農に関する基本法を町の施政として示せ

町長 推進計画は、具体的実践を目指しながら策定

**共同調理場の民営化**  
佐竹 共同調理場は民営化でなく、現在と同じように運営すべきと思うがどうですか。  
町長 民営化になっても現場で働く人が、今と同じようにに食育・食農の重要性、必要性を思っただけならば、変わらないものと思います。

**町の施政**  
佐竹 食育・食農の重要性を考える時、国には食育法がありますが、不足を補つものとして、町の食育・食農基本法を示せればと思いましたがどうですか。  
町長 食育・食農の推進計画は、具体的実践を旨としながら策定していきます。



田んぼの学校（鮎貝小学校）

食農教育の実践

佐竹 高畠町立二井宿小学校は、学校近くの土地で野菜を育て、給食に5割使用を目指した取り組みで、東北農政局長賞を受賞しました。  
町長 食育とは、単に望ましい知識を身につけることだけでなく、一家団らんを通じて思いやりの心や郷土の食文化、食に関する感謝の心などを育む幅広いものであり、食を通して人づくりであると考えています。

町長 食育とは、単に望ましい知識を身につけることだけでなく、一家団らんを通じて思いやりの心や郷土の食文化、食に関する感謝の心などを育む幅広いものであり、食を通して人づくりであると考えています。

地産物の使用拡大

佐竹 料理の工夫により、地産物をもっと使うことができると思うがどうですか。  
教育主幹 現在30%を超えて地産物を使用しています。地産物の食材を使用するメ

自校での給食

佐竹 自校方式の給食も視野にいれて良いと思います。どうですか。  
町長 当町の共同調理場は、

二ユーを増やすなど、納入関係者と連絡を取りながら工夫をしていきます。

ドライシステムを採用した衛生的で健康的な調理場で、栄養士をはじめ職員で知恵を出し合い、多様な献立に対応できるなど多くのメリットがあり、今までどおり共同調理場方式を推進していきます。

本木勝利 議員



鷹山夢街道 PART V 最上川

町長 最上川は貴重な財産

町長 最上川は、本町の貴重な財産です。最上川は、貴重な財産であり、資源としてとらえ、最上川の持つ魅力と力をま

水質浄化に取り組む萩野地区の実態は

本木 最上川は、本町の河川の全てが注ぎ込み、身近な河川をきれいにすることは、最上川をきれいにすることです。昨年から萩野地区は、地区全体で河川浄化に取り組みましたが、実

胸に抱く最上川とは

本木 町長は、本町に最上川という大きな財産があると言っています。最上川をどのようにとらえているか伺います。

流域の歴史・文化の掘り起こしは

本木 県は、最上川の世界遺産登録に向け、精力的に

取り組んでいます。本町においても流域の菖蒲、下山、佐野原、大瀬地区では、自ら歴史・文化を掘り起こそうとの運動が広がっているが、どのようにとらえていますか。



五百川渓谷

まちづくりの求心力は最上川  
本木 本町では、平成20年度を「最上川年」と位置づけ、集中して最上川に関するイベントを行ってほしいかと思いますが、いかがですか。  
町長 本町が発展するには、最上川は貴重な財産である。これを真正面からとらえ、町民と一体感が導き出せる形にしたいと考えています。具体的には、今後検討をしていきます。



安全安心のボランティア

# 条例

新しくなること

## 町三役の給料削減を継続

これまでも三役の給料を削減してきましたが、行政改革を推進するため、さらに4月から10月25日まで、給料月額から、町長は20%、副町長は12%、教育長は6%、それぞれ削減を継続することになります。

## 白鷹町安全安心まちづくり条例が制定

安全で安心なまちづくりを進めるため、お互いに連携し、犯罪や事故並びに災害等の防止をはかり、住み

## 後期高齢者医療給付金等が創設

後期高齢者医療制度が施行され、国民健康保険から支出される支援の負担分が後期高齢者支援金として創設になります。

## 葬祭費の支給が5万円に

後期高齢者の葬祭費が5万円に設定されたことから、国民健康保険における葬祭費も同額となります。

よい地域社会の実現に向けて条例を制定します。

## 質疑

**議員** この条例が動きだせばある意味では住民を拘束することにもなり、心が安らぐ社会にはならないと思います。どう考えますか。  
**町長** 現在、犯罪の広がりや心の荒廃、そして災害の恐怖などが大きな問題として浮上しています。これに対処する方向を明確にして、安全安心を守っていく必要があるために制定をするものです。

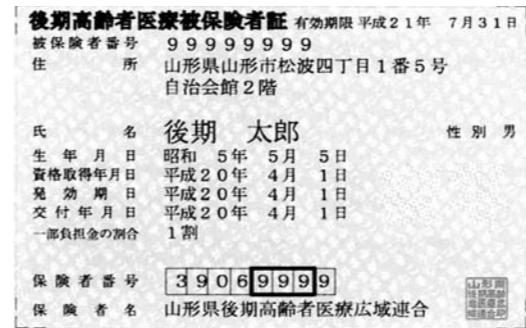
## ほかに条例で決まったこと

国民健康保険給付基金の積立額及び処分の条文の中で、後期高齢者支援金が追加になります。  
住民基本台帳カードの発行は500円ですが、今後3年間は無料になります。  
所得と土地家屋に関する証明の様式が変わり、列記数が増えます。  
介護保険料の納期が、現在6月から1月の8期ですが、7月から2月に変わります。  
国民健康保険税の税率と納期が変わります。

## 用地の取得

- 土地の表示  
白鷹町鮎貝土地区画整理組合 保留地
- 面積  
12,600㎡
- 取得予定価格  
1億8018万円
- 契約の相手先  
白鷹町鮎貝土地区画整理組合 理事長 鈴木金吾

- 町道260 鮎貝砂田線 (鮎貝地内)
- 町道453 鈴振田神明線 (鮎貝地内)
- 町道878 南落合線 (荒砥地内)
- 廃止路線  
町道260 鮎貝砂田線 (路線の変更による)



後期高齢者医療被保険者証

## 審査の結果はどうなった

# 請願

## 採択された請願

- 日豪、日米などFTA・EPA促進路線の転換と自給率向上にむけた施策の強化を求める請願  
請願者 白鷹町農民連 今 敏夫
- 食糧自給率向上に関する対応について  
請願者 生命の値段を考える会 会長 船山博大
- 山形おきたま農業協同組合 経営管理委員会 会長 神尾伸一
- 山形おきたま農協農政対策本部 本部長 神尾伸一
- 山形県酪農業協同組合 代表理事組合長 新野康雄
- 米価の安定と生産調整に関する請願  
請願者 白鷹町農民連 今 敏夫

## 不採択された請願

- 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願  
請願者 西置賜革新懇話会 代表世話人 今泉義憲  
代表世話人 保科孝一

## 意見書提出

議員発議により、3件の意見書を関係大臣等に提出することになりました。

### 食糧自給率の向上並びに食の安全・安心の確保等に関する意見書

米、牛乳、大豆などの再生産を保障する価格を国が担保すること、食糧自給率を先進国並みに高める政策を求める。

### 過疎地域の振興を目的とする新たな法律の制定に関する意見書

過疎地域自立促進特別措置法が平成22年3月に失効するため、新たな法律を制定することを求める。

### 道路整備の推進と道路特定財源諸税の暫定税率延長に関する意見書

道路整備に必要な財源を確保され、一般財源化することなく真に必要な道路の整備が着実に推進することを求める。



「生命の値段を考える会」主催の集会 (平成19年12月26日)

## 表彰

自治功労表彰  
山形県町村議会議長会表彰  
議員在職35年以上  
本木勝利 議員



おめでとございます。

山形県町村議会議長会  
広報コンクール表彰  
入選





# 追跡レポート

— あの質問のゆくえ —

定例議会で質問された課題が、その後どのように町政に反映されたかを検証します。



ブナの植栽（蚕桑小学校スキー場跡地）

森林を守るためには山を守る大切な役割として、財産区などに公的な支援が必要ではないですか。

平成 15年 12月定例議会

町長答弁

「みんなで支える森林」の意識が大切  
特定の人だけが森林を守ることだけでなく、地域の方々の組織化を前提に支援の方策を検討します。

どうなった

「やまがた緑環境税」を活用した森づくり  
平成 19年度から導入された「やまがた緑環境税」により、林業の不振で管理が放棄された森林や、利用されなくなった里山の森林などを整備し、水源かん養など公的機能を回復するため財産区を含む民有林の整備を、山形県とともに進めています。

平成 19年度実施事業  
教育の森整備事業(鮎貝地内)・ブナの森整備事業(蚕桑地内)・萩野地区水質改善事業(萩野地内)

## 議会の様子を見てください

傍聴手続きは簡単、議会事務局(85-6135)へお問い合わせください。

次の定例議会は **6月** です

● 議会中継もご覧ください  
お手持ちのパソコンでご覧いただけます  
録画でもご覧いただけるようになりました

HP <http://www.townshiratakyamagata.jp/gkai/>

議会中継

編集後記

長かった冬も終わり、春の息吹が力強く感じられるようになりました。一年は早く、昨年の今頃は、町議選真っただ中で、有権者の皆さんには大変なご迷惑をおかけしたなと思うと同時に、改めて責任の重さを感じているところです。

今、農業は、米価の下落、燃料費の高騰、輸入飼料作物の大幅値上げなどにより、経営は最悪の一途をたどっています。町は、新たに「地域農業活性化センター」を設置し、活力を生む農業を目指すとしています。センターへの期待は大きく、農家のみならず、地域全体として期待したいと思います。ピッカピッカのランドセルを背負った子供たちが誇れる白鷹町になるように、新年度を迎え決意を新たに、頑張りたいと思います。(佐藤)

発行責任者・議長  
**船山 仁**  
広報委員  
委員長  
青木 彰 榮  
副委員長・編集長  
関 千 鶴 子  
委員  
佐藤 誠 七  
委員  
守谷 丹 吾  
委員  
菅原 隆 男  
印刷・(有)梅津印刷